

# 2020年 3月期 第1四半期 決算ハイライト

ティアック株式会社  
<https://www.teac.co.jp/jp/>  
証券コード6803

2019年8月9日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 2020年3月期 第1四半期決算 ハイライト

単位：百万円	前年同期	当第1四半期	増減
売上収益	3,286	3,067	▲ 219
営業利益	15	▲ 244	▲ 259
親会社の所有者に帰属する当期利益	▲ 293	▲ 261	+ 32
資本合計	800	905	+ 105
純資産比率	7.8%	9.0%	+ 1.2%

## ■ 売上収益

- 情報機器は増収となったものの、音響機器およびその他セグメントの減収により、全体として▲2.2億円の減収

## ■ 営業利益

- 前年同期は介護記録システム事業の譲渡益+2.9億円あったことにより、当第1四半期会計期間は▲2.6億円減益となったが、売上総利益率増加、販売費・一般管理費の削減により一過性要因を除いた個別開示項目前営業利益では改善

## ■ 親会社の所有者に帰属する当期利益

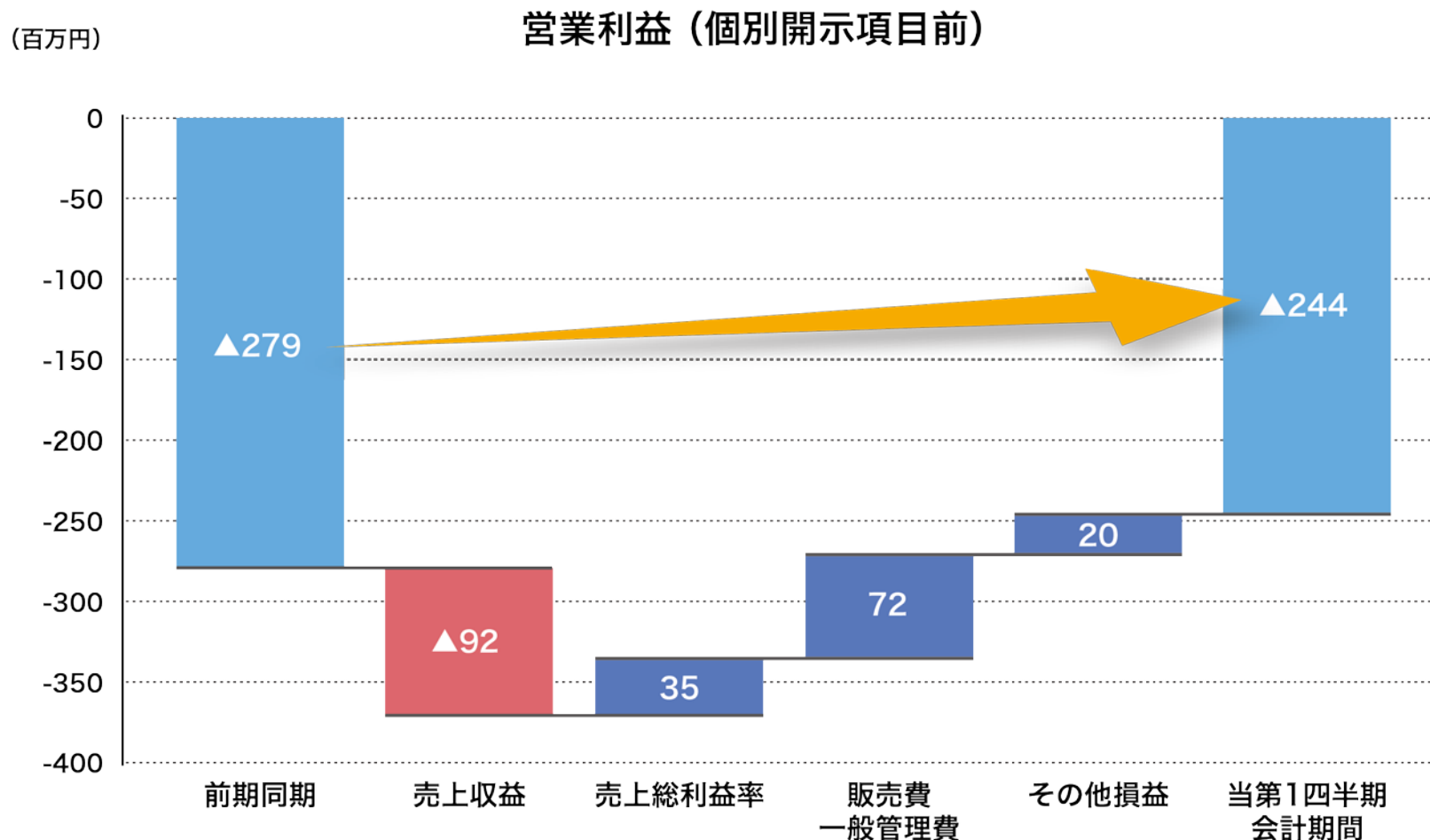
- 営業利益は減少したものの、前年同期の為替差損の発生に対し、当第1四半期会計期間は為替差益が発生したこと等により、親会社の所有者に帰属する当期利益は+32百万円改善

## ■ 資本合計（純資産）

- 前年同期末に8.0億円であった資本合計（純資産）は当第1四半期末は9.1億円と1.1億円増加し、純資産比率も9.0%と+1.2%改善

# 営業利益（個別開示項目前）

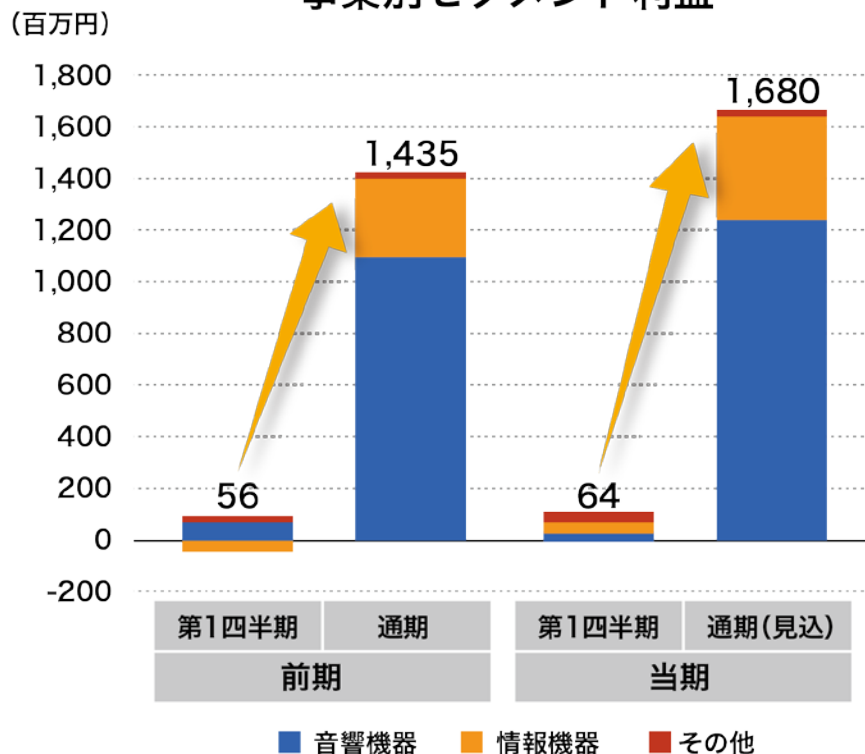
- 本業の業績を表す営業利益（個別開示項目前）は、音響機器事業の減収にて売上総利益が減少したものの、全社での売上総利益率の増加、販売費・一般管理費の削減により前年同期比で改善。



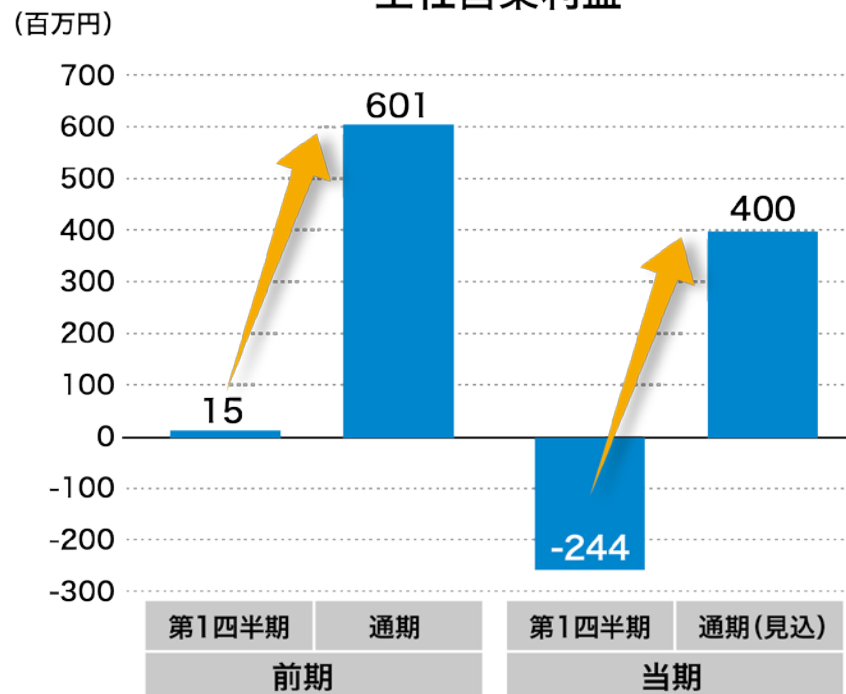
# 事業別セグメント営業利益・全社営業利益

- 音響機器：第1四半期は減益だが、新製品の投入、BtoB事業へのシフトにより、通期では増益を見込む。
- 情報機器：増収により第1四半期より黒字化。通期で増益を見込む。
- 全社営業利益は、前年同期は介護記録システム事業の譲渡益があったため当第1四半期は減益だが、本業からの営業利益は通期で増益を見込む。

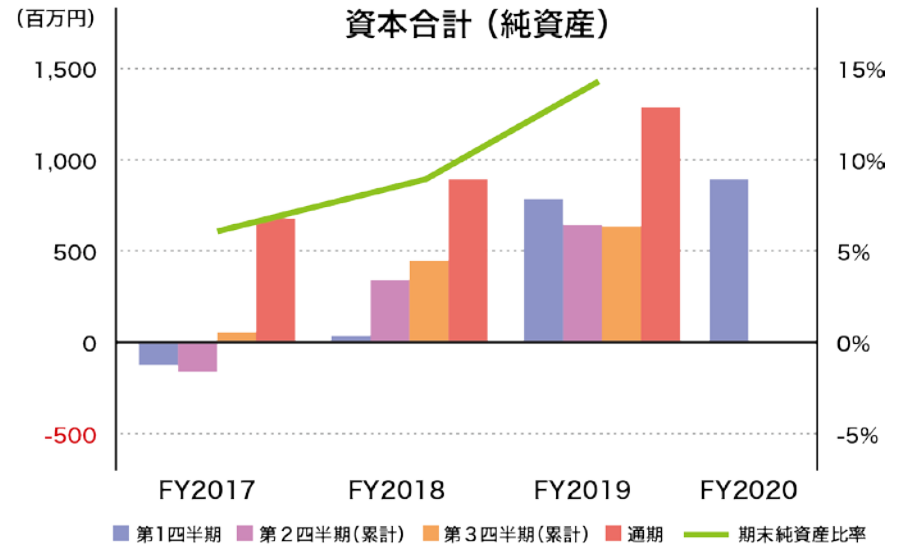
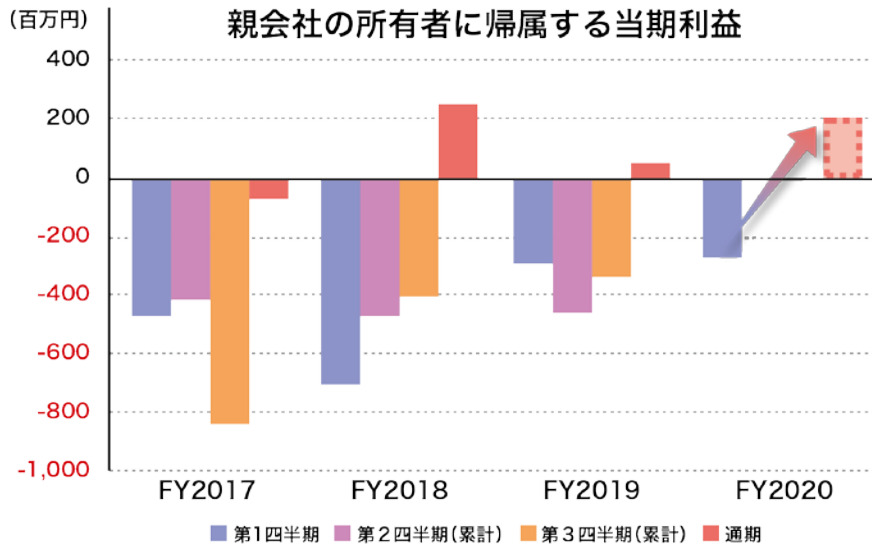
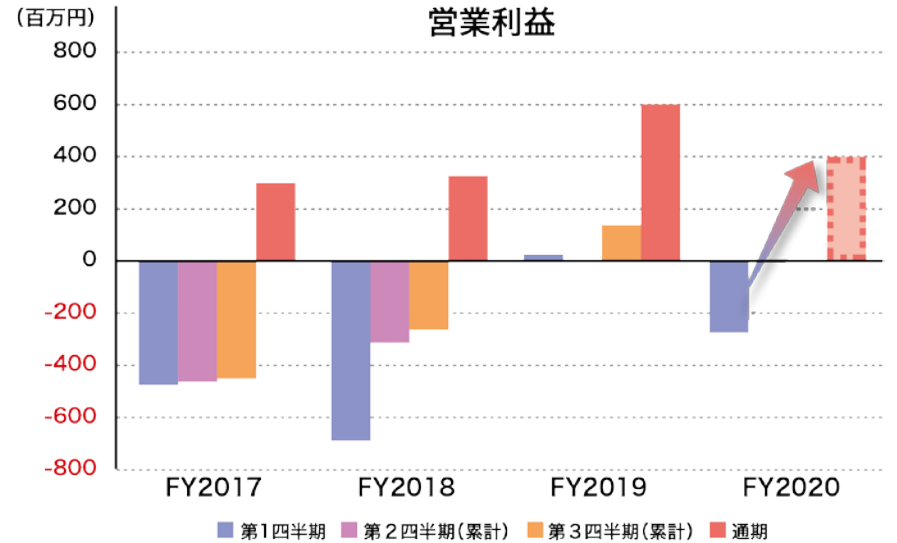
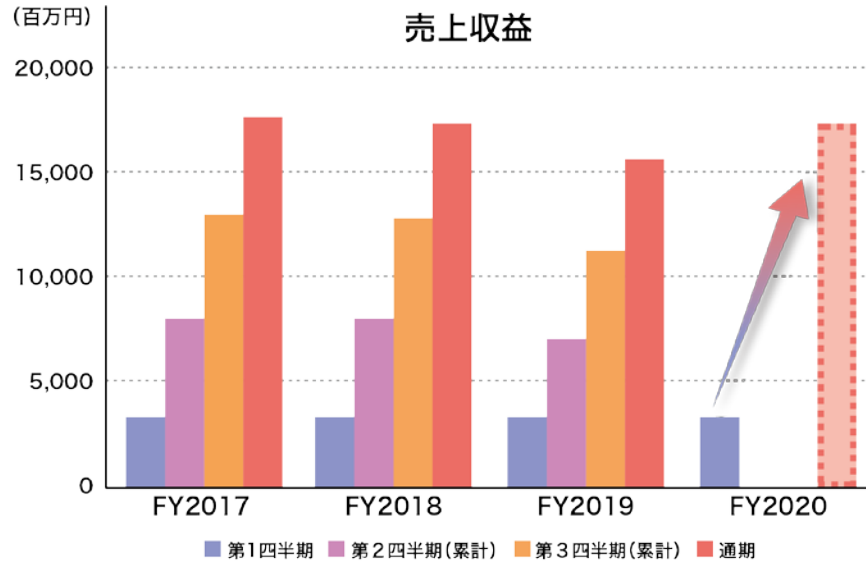
## 事業別セグメント利益



## 全社営業利益



# 売上収益、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、資本合計推移



# トピックス 1

## ■ 一般オーディオ機器



ステレオパワーアンプ『AP-505』

ステレオ、バイアンプ、BTLの3つの駆動方式を切り替えることにより様々なセッティングが可能なパワーアンプ『AP-505』を6月に販売開始いたしました。『AP-505』のパワーアンプ部には、オランダHypex社製NcoreにTEACによる音質チューニングを施した専用設計のモジュールを採用。モードの切り替えにより、1台でのステレオ動作に加え、2台使ったバイアンプ接続やハイパワー駆動が可能なBTL接続など、様々なセッティングに対応します。

## ■ 一般オーディオ機器

2019年6月に、外掛け式ベルトドライブを採用したアナログターンテーブル『TN-3B』を発表いたしました。『TN-3B』は、スタイリッシュな薄型キャビネットにMM型カートリッジ対応フォノイコライザーとUSB出力を搭載したベルトドライブ式ターンテーブルで、トーンアーム部にはハイエンドトーンアームブランドのSAEC社とのコラボレーションにより、可動部にナイフエッジを用いた新開発のトーンアームを採用。通常のベアリング構造では得られない分解能の高いサウンドが得られるようになりました。



アナログターンテーブル『TN-3B』

## ■ 音楽制作・業務用オーディオ機器



『 VS-R264 VS-R265 』

ライブストリーミング用AV Over IPエンコーダー/デコーダーの新製品『VS-R265』および『VS-R264』を発表しました。

本製品は、映像のエンコード、デコード、ストリーミング、録画を同時に行える、オールインワンの映像配信機器です。専用機器ならではの安定した動作で、長時間の運用においても高品質配信を実現します。

YouTubeやWowza Streaming Engine、Wowza Streaming Cloud、DaCastなどの動画配信サービスに対応。プレゼンテーションやライブパフォーマンスの配信、議会のインターネット中継、オンライントレーニングシステム、駅の構内やホテルのロビーのデジタルサイネージシステムなど様々な用途でご使用いただけます。

2月にオランダ アムステルダムで開催されたISE(Integrated System Europe)2019では、rAve Publicationsより「Best of ISE 2019」を受賞。HDまたは4Kでのビデオストリーミングデバイスとして、あらゆる分野での活用が期待されるとの評価をいただきました。

## ■ 音楽制作・業務用オーディオ機器



『 SERIES 8p Dyna 』

『SERIES 8p Dyna』は、長年スタジオ機器を手掛けてきたTASCAMがこれまで培ってきた技術と、お客様のご要望に耳を傾け、多様化するレコーディングやライブのシーンに対応する新しい形のマイクプリアンプです。

最大の特徴はTASCAMが手がけるマイクプリアンプの中でも上位にあたるTASCAM HDIA (High Definition Instrumentation Architecture) プリアンプを8基搭載していること。その性能は、ノイズレベル(EIN) -127dBu、THD 0.0007%、ダイナミックレンジ116dB、クロストーク119dBという数値を誇ります。

優れた拡張性も大きな魅力。リアパネルに配された2系統のS/MUX 光出力端子により『SERIES 102i』『SERIES 208i』または『Celesonic US-20x20』など、S/MUX対応のオーディオインターフェイスの拡張用マイクプリアンプとして使用可能です。

『SERIES 8p Dyna』は、ハイエンドプリアンプから多用途な出力部、さらに頑丈な1Uラックマウントサイズの筐体に至るまで、徹底したプロフェッショナルグレードな製品です。

## ■ 医用画像記録再生機器

『MV-1』は、内視鏡治療の動画記録や映像の配信など、医療現場に必要な機能を凝縮した、ティアックの新しい内視鏡イメージレコーダーです。

これまで30年以上の長きに渡る製品開発で培った消化器内視鏡との高い連携性能を有し、タッチスクリーンの採用により、視認性と操作性が格段に向上、リアルタイム映像コンバートなどの新機能を取り入れ、製品デザインを一新したMVシリーズの最新機種です。



内視鏡イメージレコーダー 『MV-1』